

公益社団法人 奈良県放射線技師会

鹿苑
ろくえん
ニュース

No. 278

2021年4月12日発行

発行所：公益社団法人 奈良県放射線技師会 発行人：高谷 英明 編集人：秋山 敬純
〒636-0302 奈良県磯城郡田原本町宮古404-7 奈良県健康づくりセンター内 TEL 0744-34-1121

巻頭言

新たな領域へ

公益社団法人 奈良県放射線技師会 副会長 小林 勝宏



新年度が始まりました。昨年度は COVID-19 の影響で様々な技師会行事が中止・延期になり、会員の皆さまには大変ご迷惑をおかけいたしましたこと、深くお詫び申し上げます。本年 1 月に発令された 2 度目の緊急事態宣言により、全国の新規感染者数は 1 月中旬以降減少しましたが、2 月中旬以降は下げ止まり傾向になり、3 月 21 日には緊急事態宣言が全面解除されたものの、今後の再拡大（リバウンド）が危惧されています。このような状況の中、この先も COVID-19 の影響が懸念されますが、今年度は With/After コロナ時代の新しい技師会のあり方や対処すべき課題を克服しつつ、少しでも会員の皆さまに有益な事業が開催出来るように進めて参りますので、会員の皆さまには今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、本年 1 月の通常国会において、厚生労働省より診療放射線技師の業務拡大に係る法案が提出されました。この法案（良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等改正の趣旨の一部を改正する法律案）は、医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアを推進し、医療関係職種の業務範囲の拡大等を行う法案で、2024 年 4 月から医師の時間外労働の上限規制が適用されるため、医師の労働時間短縮を目的に医療専門職種への業務の移管や共同化（タスク・シフト/シェア）を行うことを目的としています。この法案により診療放射線技師にタスク・シフト/シェアされる主な業務としては、①RI 検査や造影検査のための静脈路確保、注入装置の操作および抜針止血、②CT コロノグラフィ検査等の下部消化管検査のために注入した造影剤及び空気の吸引、③上部消化管検査のために挿入した鼻腔カテーテルからの造影剤の注入、鼻腔カテーテルの抜去、④医師又は歯科医師の指示による病院又は診療所以外の場所における超音波検査などが挙げられます。その中で、診療放射線技師が現行制度上実施できない業務に該当する行為については、養成課程のカリキュラムの追加および有資格者に対する研修が義務付けられますので、厚生労働大臣が指定する研修（告示研修）を 6 月頃より実施できるように準備が進められているところです。この法案が認められると、RI 検査や造影検査では、緊急時体制の整備が必要ではありますが、静脈路の確保から RI 核種や造影剤の注入、撮像、抜針止血まで、診療放射線技師による一貫した対応が可能となります。静脈路の確保という侵襲的な業務は診療放射線技師にとって全く新しい領域であり、様々な苦労や負担が伴う事も想定されますが、この業務拡大はチーム医療の一員として診療放射線技師に「求められた業務拡大」であるということをご理解いただき、是非前向きに取り組んでいただきますようお願い申し上げます。

会 告

2021年4月1日

公益社団法人奈良県放射線技師会

会 長 高谷 英明

第8回（通期第68回）通常総会開催のご案内

本会、定款第4章、第19条の規定に基づき、第8回（通期第68回）通常総会を下記の通り開催致します。

記

日時：2021年5月29日（土）午後2時00分より

場所：奈良県社会福祉総合センター 5階 大会議室

近鉄橿原線「畝傍御陵前」駅下車東へ徒歩1分

橿原市大久保町320番地の11 ☎ 0744-29-0111

議 事

- 第1号議案 2020年度事業報告、収支決算報告、監査報告について
- 第2号議案 2021年度事業計画（案）、収支予算（案）について
- 第3号議案 その他

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、できる限り総会出席を控えていただき、書面採決にご協力の程よろしくお願い申し上げます。

※出席される場合は駐車場が狭いため、公共の交通機関でお越しください。

以上、会告する。

組織委員会 4 地区合同懇話会開催報告

奈良県放射線技師会 組織委員会
委員長 辻村 恭平

2021年2月26日（金）「組織委員会4地区合同懇話会」をWebにて開催いたしました。

例年であれば、ひとつの会場に集まり懇話会を開催していましたが、2019年12月に発生した新型コロナウイルス感染症が世界中に広まり、未だ収束のきざしが見えない状況で、奈良県放射線技師会の事業は、中止・延期となる過去に経験のない事態となりました。

そこで、組織委員会としては会員の皆様の安全を第一に考え、Webでの懇話会の開催に舵をきりました。

しかしながら、ノウハウがありません。どうすればいいのか。悩みましたが行動を起こそうということで、ご紹介いただいた会員の方から賛助会員であるメーカーの方のご助言を受けて、最終的に医療関係のWeb研修会に精通している運営会社に協力してもらう結果となりました。

懇話会としては、垣根のないオープンな議論をすることをモットーにすすめてきましたので、Web開催にあたっては、そこは重要視して運営会社と調整しました。それを踏まえZOOMを使った会議スタイルに近い方式をとりました。

事前登録参加制にして、50名限定とさせていただきました。当日の参加者は、33名（会員31名、非会員2名）であり、50名には届いていませんので今後の広報の課題とします。しかしWebの懇話会としては合格点と考えています。2題の演題のもと発表者が事前に録画した動画を参加者に視聴してもらい、その後討論を行いました。討論の中に「アンケート」も入れ、参加者に回答してもらい、そこから議論を深めることができたと思っています。今後もしばらく新型コロナとともに過ごしていく日々が続くと思われます。その影響で対面での会議・学術大会が開催されない傾向が続くと予測します。

組織委員会としては、よい意味での変革として考え行動していきます。人と接して得るリアルな情報の優位性はあるはずですが、世情を見ながら現地開催、Hybrid集会、Web開催を模索していきます。

文末になりましたが、Web開催にあたりご協力いただいた運営会社の皆様、組織委員スタッフ、理事の方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

「診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー」開催報告

奈良県放射線技師会 教育委員会
委員長 日浦 之和

2020年度の「診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー」はCOVID-19の感染状況を鑑みてオンデマンド配信とさせていただきます。開催時期につきましても最後まで会場での開催を検討しましたが、Web開催が適切であると判断して年度末での開催とさせていただきます。

本セミナーには13名の診療放射線技師の皆様にご参加いただき、医療職場で働くための基本的な内容から専門知識にいたるまで、また社会人として必要なスキルを動画にて視聴していただきました。時間的な制約もあり、従来の会場開催時より講義時間は短くなりましたが、講師の皆様には内容の充実した動画をご用意いただくことができました。視聴いただいた皆様の今後の業務に役立つことができれば幸いです。

ただ、オンデマンド配信という一方からの発信となり、質疑応答をはじめとした皆様とのコミュニケーションが希薄となった点が挙げられ、今後の課題として取り組んでいきたいと思っております。

2020年度は技師会事業の多くが中止せざるを得ない状況となりましたが、今後も奈良県放射線技師会の活動へのご協力のほどよろしくお願いいたします。

イベント開催報告書				公益社団法人奈良県放射線技師会	
委員会	教育委員会	イベント名	診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー	会員(無料)	6名
報告者	日浦之和	日時	2021年2月20日～3月4日	会費(¥0)・一般市民	7名
		場所	WEB開催	ポスター・チラシ・写真等掲載欄	
プログラム・内容:					
科目	時間数	講師		コメント:	
エチケット・マナー講座	20分	池口 俊孝(奈良県立医科大学附属病院)		<p>今年度の「診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー」はオンデマンド配信となりました。13名の診療放射線技師の皆様に参加いただき、左記の動画を視聴いただきました。今後も動画配信を継続する場合にはアンケート調査など取り入れた事業評価方法が課題となります。また、技師会活動の理解も深めていただき、参加者全員の入会を期待する。</p>	
医療コミュニケーション	20分	池口 俊孝(奈良県立医科大学附属病院)			
医療安全講座	30分	小林 勝宏(田北病院)			
感染対策講座	30分	竹中 智士(近畿大学奈良病院)			
胸部撮影講座	40分	高谷 英明(国保中央病院)			
技師会活動について	20分	奈良県放射線技師会 会長 高谷 英明			

安全管理委員会 だより vol. 3

奈良県医療安全推進センター 第15回ネットワーク会議参加記

～脊髄造影時の造影剤間違いについて～

奈良県放射線技師会 会長 高谷 英明

令和3年1月13日(水)に、奈良県医療安全推進センター第15回ネットワーク会議が開催され、関連団体として公益社団法人奈良県放射線技師会から参加した。19施設、2関係団体、7職種から53名(看護師29名、診療放射線技師9名、薬剤師8名、臨床検査技師3名、事務職2名、助産師1名、臨床工学技士1名)という今回もたくさんの方が参加しておられ前回同様、医療安全に対する意識の高さを感じる会議となりました。医療安全推進センターについては前回の鹿苑ニュース No. 276号にて詳細を説明いただいております故、そちらをご参照いただきたいと思います。今回のテーマは神経根ブロック時の『脊髄造影時の造影剤間違い』という事で事例紹介として該当施設より報告がありました。神経根ブロック；周手術期経過用紙に沿った確認を怠り、照合を行わなかった事をトリガーとして、脳槽・脊髄・関節の造影で用いられるイゾピストと尿路・血管の造影に用いられるイオパミロン注370を誤って使用したという事例でした。誤投与の原因としては、幾つかの理由が存在する事が多いと思います。この事例も、幾つかの確認すべきポイントを省略した為に生じたものだと感じました。まず、最初に必要物品準備の段階で①『周手術期経過用紙』に記載されている準備品を確認する事なく記憶をもとに物品を用意した事、②薬剤の準備を処方箋なしで準備をした事、③神経ブロックの前に担当医師と担当看護師の薬剤のやり取りに齟齬があった事をそのまま流している。という少なくとも3つの確認ポイントを省いた事で誤投与に繋がりました。幸い患者に対し重篤な副作用が生じることはなかったとの事であるが、大変危険な事象でした。

インシデントが起こる理由の多くにこの様な『確認不足』や『思い込み』で従来の手順を自己都合で省く事で生じている。事案は違うが当院でのインシデント報告もその多くが同じ様な事が原因で生じている。また、薬剤を管理する状況も薬剤の配置でも造影剤を複数管理する場合に同じ様な位置に配置をしていると薬剤を誤って認識する可能性が上がる事もある。今回の事象ではこの薬剤管理の状況についても見直しがなされており、造影剤に関しては放射線技師が管理をするという様な対応をされている施設もあった。また造影剤だけでなく、治療薬についても同じ様に誤投与の可能性があるため、これらを防ぐための対処方法も同時に再検討され、改善に努められていました。

人である以上、間違いを無くす事は不可能です。ただ、その間違いを間違いとして実行されるのではなく、間違えた場合に何処かでチェックできるシステムを構築する事が重要だと言われています。今回の場合では、①タイムアウトの実施。②診療科が使用する薬剤の対応表を作成し、壁に貼るなど目につく場所に置いておく。③造影剤の『準備』と『投与前』に医師と確認を行う。④2回主張ルールの実践の徹底。⑤CUSの導入と推進(C:Concern『気になります』U:Uncomfortable『不安です』S:Safety Issue『これは安全の問題です』)CUSは不安感や違和感を感じた場合、率直に声を上げもう一度その原因を取り除くというために行う事です。この様な事柄をもう一度初心に立ち返って誤りを未然に防ぐという事の大

切さを再認識させられました。医療の現場では様々な状況の中で業務を遂行しなければなりません。イレギュラーな時ほどミスやトラブルに繋がる可能性が高くなります。この様な状態であっても落ち着き業務を行うためにも今一度これらの手法を用い、可能な限りインシデントを防がねばならないと感じる良い機会となりました。

皆様もこの様な事象を起こす事がない様、日常業務の在り方について所属施設の方々と話し合い、改善を重ね事故のない環境作りをお願いしたいと思います。

原子力災害時の放射線被ばくの防止に関する研修会 開催報告

奈良県放射線技師会 副会長 小林 勝宏

令和3年3月13日(土)に、近鉄大和八木駅前のミグランス・4F コンベンションルームにて「原子力災害時の放射線被ばくの防止に関する研修会」を開催いたしました。この研修会は、平成27年に関西広域連合とその構成府県、および各府県放射線技師会、日本診療放射線技師会が締結した包括協定に基づいて奈良県放射線技師会が平成28年度から行っている研修会です。今年はコロナ禍のため、残念ながら奈良県広域消防組合の皆さまが参加を辞退されましたので、奈良県放射線技師会員のみで研修会を行いました。土曜日の午前中にもかかわらず参加していただいた皆さまありがとうございました。今回 COVID-19 感染拡大防止の観点から研修時間をいつもより短縮し1時間半で予定していましたが、研修時間と研修内容とが見合っておらず研修時間が大幅に伸びてしまい、参加者の皆さまにご迷惑をお掛けしてしまいました。しかしながら、オンサイトで開催出来たことは非常に有意義であったと思います。来年度は奈良県で開催予定の近畿地域診療放射線技師会学術大会において、関西広域連合共催で開催を計画していますので、皆さま是非ご参加くださいますようお願いいたします。

公益社団法人奈良県放射線技師会
原子力災害時の
放射線被ばくの防止に関する
研修会開催のご案内

日程 2021年3月13日(土)
時間 10:00~11:30 受付 9:30~
会場 ミグランス 福生会館4F 4F コンベンションルーム
参加費 会員 無料 非会員 1000円
お申込 kousyuukai@rokuen.jp (3月6日マド)
必要事項をご記入の上、上記アドレスへメールにてお申し込みください
・参加氏名(同一施設の場合は連名でも結構です)
・施設名
・連絡用メールアドレス(代表者のみで結構です)

セミナー内容
1.「放射線測定器の取り扱い方法と特性」 株式会社日立製作所 高野 隆之
2.「原子力災害時の放射線測定法」 白石 崇徳 小林 勝宏
3.「放射線計測機器」(ザンペイ実演)

お問い合わせ：(公社)奈良県放射線技師会 理事 北村未央
福生会中庭病院 放射線科 ☎0744-43-5001 ✉kikamura@rokuen.jp

「原子力災害時の放射線被ばくの防止に関する研修会」に参加して

高清会 高井病院 後藤 周也

令和3年3月13日、ミグランス橿原市役所分庁舎で開催された研修会に参加させていただきました。奈良県には原子力発電所や原子炉はないので、研修会に参加する前は自分には関係ない話だと思っていました。しかし、もし地震などで福井県にある敦賀原子力発電所の放射線物質が外に漏れだした場合に、被災した方の一部（約6.6万人）を奈良県が受け入れをする体制になっているとは研修に参加しなければ全く知らないままだったのではないかと思います。震災が起これば、自分達も関わる可能性があることを知り、本当に参加して良かったと感じました。

また実習では、被災された方に対しての測定を想定した測定実習を高井病院から私と西原さんが参加していたので体験させてもらうことになり、実際に使用する保護衣を着用し測定することになったのですが、防護衣が少し小さかったので着るのが大変でしたが、順序だてて着用していく過程など貴重な体験をさせてもらいました。しかし、防護衣を数分間着用しただけですが暑く、息苦しさを少し感じました。有事の際には何万人もの人を素早く、正確に長時間測定しなければならないことを考えると、体力が必要な作業だと思いました。

最後に高清会高井病院に入職してもうすぐ一年がたちます。この一年間、研修会、勉強会、学会がコロナの影響でなかなか参加することができず、また技師会の行事も中止になり、参加する機会がなかったのですが、今回「原子力災害時の放射線被ばくの防止に関する研修会」にオンサイトで参加することができ、リモートではなかなか難しい体験実習をすることができました。またその実習で防護服の着用や測定の改善点などをその場で参加されている先輩方と討論することができ、大変貴重な体験をさせてもらいました。二年目に突入しますが、積極的に今後研修会など参加をしていきたいと思っています。



「原子力災害時の放射線被ばくの防止に関する研修会」に参加して

高清会 高井病院 西原 剛志

令和3年3月13日に開催された原子力災害研修会に参加させていただきました。奈良県に就職して初めての技師会行事であったため、少し緊張もありましたが、講義は放射線被ばくの復習から始まり、スクリーニングの方法など学べ、特に原子力災害時における放射線技師の役割について知ることが出来ました。そして、サーベイメーターの取扱方法などを学んだ後、高井病院から私と後藤君が初参加であったので、放射線防護衣を着用する機会を設けていただきました。着用する手順にも理由があり、着衣にも苦勞しました。実際に着用すると、防護衣は蒸し暑く、マスクによって息は苦しく、ゴーグルによって視界は悪く、特に夏など暑い日に一日着用するとなると大変だろうと実感しました。その後、実際にサーベイメータを持って模擬測定をさせていただきました。測定の手順にも手順があり、サーベイメータを身体の部位ごとに測定するのですが、計測は早くても遅くてもいけなく、一人当たりの測定がおおよそ3分ぐらいで、1日に数百人測定するとなると、身体的にも大変なのだろうと思います。福島の災害時には大勢の方がこの作業をされていたのだと考えると、研修をすることが出来て本当に良かったと感じました。

今回、一生に数回するかどうかの貴重な体験をすることが出来ました。コロナ禍で研修会、勉強会、学会の開催も大変な中での開催にご尽力いただきました奈良県放射線技師会の皆様に心より感謝申し上げます。



2020年度 第6回定例理事会議事録（抄）

日時：2020年3月16日（火）19時00分～21時27分

場所：奈良県立医科大学 教養教育棟 第一講義室

出席理事：高谷英明、池口俊孝、小林勝宏、竹中智士、野儀明宏、日浦之和、秋山敬純、山田卓実、辻村恭平、細川倫之、玉井宏征、吉田真大、高田太輔、錦一聡

出席監事：水野吉将、高嶋敏光

欠席理事：北村未央

会長挨拶：1月14日からの緊急事態宣言後、少しずつCOVID-19罹患者の現象が認められる様になって参りました。また、ワクチン摂取も始まり少しずつ収束へと向かっていく様な流れを感じる様になりました。再度気を引き締め放射線業務の遂行をお願いしたく存じます。過日に行われた全国会長会議及び、近畿会長副会長会議で告示研修についての報告がありました。これは医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアが開始される中で我々が請け負うべき重大な業務となる事案への研修です。今後は大きな柱となる事業ですので当会としても全力で取り組んでいきたいと思っております。尚、限りある時間を有効に使うべく議案書には十分な事前確認をお願いしたく存じます。

定数確認（第30条）

出席理事14名、出席監事2名、欠席理事1名

定款30条により、理事会の成立が宣せられた。

議事録作成人ならびに署名人の指名

議長（第31条）：高谷英明会長

議事録作成人：竹中智士常務理事

議事録署名人（第32条）：水野吉将監事、高嶋敏光監事

I 議案（報告事項）**1. 会長報告**

- (1) 事務所問題についての報告：奈良県関係県からの退去要請の経緯としては平成30年度に奈良県の行政監査が行われ、普通財産の貸付についての監査が入り無償貸付の見直しが行われ令和3年より有償貸付とする事が決まったとの説明を受けました。それに伴い県が当会の事務所運営の実態の確認を行なった際、当会に事務所として貸し出す理由が

ないとの見解がなされ今回の件に繋がったとの事です。今後は理事会にて委員会を立ち上げ、その中で事務所移転についての方向性を話し合っていきたいと考えます。つきましては委員会設置の承認をお願いしたいので審議をお願いします。

【質疑】

日浦理事：何をしていくことになりますか。

高谷会長：退去を県から言われているが、どう対応していくのかを検討します。公益社団法人を維持するには、移転に関しての費用がどれくらいまで許されるのか。どこに移転するのかを話し合います。

【審議事項】

事務所移転に関する委員会設置について

保留【0】反対【0】賛成【13】

- (2) 事務所移転の退去期限に関して念書の提出を求められています。口頭では3年の猶予を求めましたが、3年は長い、との返答でした。移転先を探し、定款の改正をしなければならず、退去期限を2年として、令和5年3月31日としたいので審議をお願いします。

【質疑】

高谷会長：当面、年間60万円程度なら計上可能との予測であるが、事務所費として年間60万円というのは、会員数がどれくらいまで減っても大丈夫なのですか。

山田理事：もし年間60万円事務所費に使ってしまい、お金がなくなるならば展開する事業規模を縮小しなければならないかもしれません。すぐに枯渇することはないと思います。また、資金会費の使途を定款に記載しておりませんので、例えば100万円あったら50万円を公益事業に使用しなければなりません。定款に記載すればその割合を変更することができます。また、以前の監査で事務所費がないことが指摘されています。

高谷会長：定款に明記しておけばよいということですね。

野儀理事：資金の使用割合についてと、事務所のあり方の変更が必要になります。資料の閲覧についてWeb上で行えるように定款を変更しなければなりません。その期間として2年にかかる

ということで退去期限を2年として説明する
 しかないのではないですか。正当な理由があ
 れば県としても理解してくれるのではないで
 すか。

【審議事項】

事務所移転に関しての退去期限を2年としたいことにつ
 いて 保留【0】反対【0】賛成【14】

(3) 奈良県放射線技師会関係

(ア) 診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー
 を開催

(イ) 4地区合同懇話会を開催

(ウ) 原子力災害時の放射線被ばく防止に関する研修会
 を開催

(4) 日本診療放射線技師会関係

(ア) 2021年度・2022年度代議員立候補について

代議員立候補者 : 高谷、池口、小林

補欠代議員立候補者: 秋山

(イ) 2020年度第2回近畿地域診療放射線技師会会長副
 会長会議報告

(ウ) 第37回日本診療放射線技師学術大会につい
 て 2021年11月12日(金)～14日(日)
 (演題発表募集は5月31日(月)まで)

(エ) 日放技事務所移転完了の報告: 2月24日より新事務
 所での業務開始

(オ) 第82回 公益社団法人日本診療放射線技師会臨時総
 会開催報告

(5) その他

業務改善推進委員会と奈良県放射線技師会の関わり
 について

今までは関西☆collection(以下:カンコレ)と奈
 良県放射線技師会の連携を強化していきたいと考
 える。次年度より教育委員会がカンコレとの連携
 を行い、活動内容や問題点などを報告して頂きた
 いと考えるので審議いただきたい。

【質疑】

高嶋監事: 教育委員会で行うということは、日浦理事が
 担当するということですか。

高谷会長: 日浦理事だけでなく、委員のメンバーもいま
 す。

高嶋監事: 業務改善推進委員会と奈良県放射線技師会と
 の連携ですので、日浦理事が報告を上げてい

ただきたいと思います。

日浦理事 : 告示研修の広報については行ってもよいで
 すか。

高谷会長 : 行っていただいてよいです。6月から始ま
 る予定ですが、具体的内容が決まるのは国会
 で決まってからです。

池口副会長: 今までは、女性活躍推進という名前でカン
 コレとイコールであったが、業務改善推進
 委員会と名前が変わってイコールではな
 くなりました。今回の件は、業務改善推進委
 員会と連携するのか、カンコレと連携する
 のかどちらですか。

高嶋監事 : 業務改善推進委員会と奈良県放射線技師会
 の連携を持ってほしいとのことです。カン
 コレというのは通称であって正式名称では
 ありません。業務改善委員会と連携をし
 ます。

【審議事項】

教育委員会と業務改善推進委員会との連携強化について
 保留【0】反対【0】賛成【13】

【他府県からの発刊物】

(公社) 福島県診療放射線技師会

福島放技ニュース No.180

(公社) 秋田県診療放射線技師会

AART会誌 令和3年 第58号

(公社) 東京都診療放射線技師会

東京放射線 2020年 12月号 Vol.68 No.791

(公社) 埼玉県診療放射線技師会 埼玉放射線 第263号

(公社) 神奈川県放射線技師会 かながわ放射線だより

「KART」 Vol.73 No.5 JAN.2021 290

(一社) 山梨県診療放射線技師会 70周年記念誌

(公社) 富山県診療放射線技師会 会報 Vol.95 2021

(公社) 岡山県診療放射線技師会 会誌 第40号 2021.2

(公社) 大分県放射線技師会

大分放射線 第122号 January 2021

【近畿地域診療放射線技師会関係】

(公社) 大阪府診療放射線技師会 大放技会報 No.336

(公社) 京都府放射線技師会

京放技ニュース 2/2021 通算729号

【他団体からの発刊物】

(社) 奈良県結核予防会 機関紙『複十字』No.396
奈良県社会福祉協議会 広報誌 福祉だより

2020 No.551

(一社) 奈良県医師会

「奈良県医師新報」February 2021 vol.829

(一社) 奈良県薬剤師会 会誌 第186号

(一社) 奈良県臨床検査技師会

奈臨技 ニュース No.320

(公社) 日本歯科技工士会

「日本歯技」2 February. 2021 第620号

千代田テクノ

FB News 2021 2 No.530

2. 副会長の活動報告

(池口副会長)

近畿地域診療放射線技師会学術大会in奈良

第6回プロジェクトミーティング (Web開催)

2021年1月28日 (木)

第6回 学術委員会 2021年2月 2日 (火)

第4回 安全管理委員会 (Web開催)

2021年2月 9日 (月)

2020年度第2回近畿地域診療放射線技師会

教育委員会/会長副会長会議 2021年2月13日 (月)

第1回医療専門職団体連携会議 2021年2月25日 (木)

4 地区合同懇話会 2021年2月26日 (金)

第7回プロジェクトミーティング (Web開催)

2021年3月 1日 (木)

原子力災害時の放射線被ばくの防止に関する研修会

2021年3月13日 (土)

(小林副会長)

近畿地域診療放射線技師会学術大会in奈良

第6回プロジェクトミーティング (Web開催)

2021年1月28日 (木)

第4回 安全管理委員会 (Web開催)

2021年2月 9日 (月)

2020年度第2回近畿地域診療放射線技師会

教育委員会/会長副会長会議 2021年2月13日 (月)

奈良県医療安全推進センター 4 地区合同懇話会

2021年2月26日 (金)

第7回プロジェクトミーティング (Web開催)

2021年3月 1日 (木)

原子力災害時の放射線被ばくの防止に関する研修会

2021年3月13日 (土)

II 常設委員会

1. 総務関連事項 (竹中智士常務理事)

1月15日から3月7日まで

(1) 新入会員【承認事項】

なし

(2) 退会

3名

(3) 転入

なし

(4) 転出

1名

(5) 異動

7名

(6) 新規施設登録

なし

(7) 施設情報変更

なし

(8) 賛助会員

2月24日 株式会社 日立製作所ヘルスケア→ 4月1日より
富士フィルムヘルスケア株式会社へ社名変更

(9) 慶事・弔事

(ア)慶事

なし

(イ)弔事

なし

(10) 会員数

(公社) 奈良県放射線技師会正会員 435名

(1月14日 第5回定例理事会報告時 439名)

備考: 公益社団法人日本診療放射線技師会関連
奈良県会員 434名 仮会員1名 (3月7日現在)

(11) イベント・カウント申請、完了

① 申請

1月22日 診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー (Web開催) (2月20日～2月28日)

1月27日 4地区合同Web懇話会 (Web開催)

(2月26日)

2月19日 第46回奈良県R I ミーティング (Web開催)

(3月19日)

② 完了

3月 3日 4地区合同Web懇話会 (Web開催) (2月26日)
正会員31名 非会員2名 他0名

(12) その他

審議事項

- ・会員2名が休職 (育休) のため奈良県放射線技師会年会費免除申請がありました。会費納入規程第5条第2項に係る審議をお願いいたします。
- ・会員1名の終身会員の申請があり、会費納入規程第6条第1項に係る50,000円を納入済みです。審議をお願いいたします。

【質疑】

なし

【審議事項】

会員 2名の休職 (育休) のため奈良県放射線技師会年会費免除申請について

保留【 0】 反対【 0】 賛成【14】

会員 1名の終身会員の申請について

保留【 0】 反対【 0】 賛成【14】

【質疑】

なし

【審議事項】

なし

3. 学術関連事項 (野儀明宏学術委員長)

1. 奈良県放射線技師会学術大会2021について
2021年度開催予定

- ・座長、講師、シンポジストの先生には、スライド開催について依頼済み

開催日時：2021年10月24日 (日) 11:00~17:00

場 所：奈良県社会福祉総合センター 仮予約済み

テ ー マ：「奈良県の救命救急医療の現状～今を知り
どう動くか～」

開催方法決定時期

- ・2021年6月の学術委員会にて決定予定

方針

- ・新型コロナウイルス (COVID-19)の状況を見て、
会員情報交換会は検討

予算

予算 (案)

	科 目	2019年度 予算	2019年度 決算	2021年度 予算
収入	参加費	10,000	12,000	
	事業対策費	340,000	274,010	345,370
	計	350,000	276,010	345,370
支出	会場費	40,000	41,380	75,370
	会場使用料			
	会場備品費	10,000	8,600	50,000
	謝金 (講師・座長・シンポジスト)	60,000	28,000	75,000
	交通費 (講師・座長・シンポジスト・理事・学術委員・実行委員)	40,000	17,200	40,000

2. 財務関連事項 (山田卓実財務担当理事)

(1) 中間報告

2020年度 3月 1日 現在 会計中間報告									
科目	公益目的事業会計								
	公1			公2			公3		
	県民に対する講演会、知識の普及啓発事業			研究調査及び指導、職業倫理の高揚を支援			図書刊行物の発行及びホームページにおける		
経常費用	予算額	支出額	予算 執行率	予算額	支出額	予算 執行率	予算額	支出額	予算 執行率
事業費									
会場費	100,000	0	0%	100,000	0	0%	0	0	
経費交通費	200,000	1,640	1%	200,000	11,220	6%	0	0	
通信運搬費	10,000	16,212	162%	10,000	253,000	2530%	300,000	136,416	45%
消耗品費	50,000	0	0%	100,000	0	0%	0	0	
印刷製本費	200,000	0	0%	50,000	13,540	27%	1,200,000	515,322	43%
賃借料	150,000	0	0%	0	0	0%	0	0	
雑謝金	200,000	0	0%	200,000	0	0%	0	0	
支払手数料	5,000	0	0%	5,000	880	18%	5,000	2,530	51%
会議費	50,000	0	0%	0	0	0%	0	0	
福利厚生費	0	0	0%	0	0	0%	0	0	
研究助成費	0	0	0%	0	0	0%	0	0	
雑費	200,000	0	0%	200,000	0	0%	0	0	

科目	その他事業会計								
	他1			他2			他3		
	日放技及び産科婦人科放射線技師会との連携による学術大会			研究会・勉強会への助成事業及び海外研修生の受入れ事業			会員に対する福利厚生事業		
経常費用	予算額	支出額	予算 執行率	予算額	支出額	予算 執行率	予算額	支出額	予算 執行率
事業費									
会場費	0	0	0%	0	0	0%	0	0	
経費交通費	50,000	0	0%	0	0	0%	0	0	
通信運搬費	50,000	0	0%	10,000	0	0%	0	0	
消耗品費	0	0	0%	5,000	0	0%	0	0	
印刷製本費	50,000	0	0%	0	0	0%	0	0	
賃借料	0	0	0%	0	0	0%	0	0	
雑謝金	0	0	0%	0	0	0%	0	0	
支払手数料	5,000	0	0%	5,000	0	0%	0	0	
会議費	0	0	0%	10,000	0	0%	0	0	
福利厚生費	0	0	0%	0	0	0%	300,000	0	0%
研究助成費	0	0	0%	300,000	0	0%	0	0	
雑費	50,000	0	0%	50,000	0	0%	0	0	

科目	法人会計		
	予算額	支出額	予算 執行率
寄附費			
総会費	100,000	0	0%
経費交通費	200,000	39,360	20%
通信運搬費	200,000	130,061	65%
消耗品費	100,000	34,713	35%
印刷製本費	80,000	175,670	220%
支払手数料	5,000	1,870	37%
雑費	1,001,000	209,638	21%

○地区懇話会web費用 ¥253,000 公2通信運搬費より支出

会議費（シンポ・抄録・拡大）	30,000	27,060	30,000
印刷費	60,000	46,445	60,000
通信費	—	—	5,000
雑費	10,000	2,785	10,000
消耗品費（記念品）	100,000	104,540	—
計	350,000	276,010	345,370

- ・ハイブリッド開催およびWeb開催 → 開催業者4社に見積もり依頼中

【審議事項】

なし

2. 奈ラーニング2021について

2021年度開催予定

- ・講師の先生には、スライド開催について依頼済み

開催日時：2021年11月26日（金）19:00～21:00

（18:30受付）

場 所：奈良県立医科大学 臨床研究棟 大会議室

テ ー マ：診療放射線分野における感染症対策

開催方法決定時期

- ・2021年8月の学術委員会にて決定予定

【審議事項】

なし

3. 県民公開講座について

2021年度開催予定

- ・座長、講師、シンポジストの先生には、スライド開催について依頼済み

開催日時：2022年1月16日（日）13:30～16:45

場 所：奈良県橿原文化会館小ホール

テ ー マ：「乳がんの診断と予防 ～健康なくらしのために～」

講 師：

【診療放射線技師の立場から】現在検討中

【行政の立場から】奈良県福祉医療部医療政策局疾病対策課がん対策係

【医師の立場から】学研奈良乳腺クリニック

所長 山本克彦

開催方法決定時期

- ・2021年10月の学術委員会にて決定予定

方針

- ・後援申請は現行通り、広報については県下情報誌等を広く利用する

【審議事項】

なし

【質疑】

秋山理事：若手が行った研究発表の抄録の査読についての進捗はどうなっていますか。

野儀理事：学術委員会で審議できていないのが現状です。査読する対象としてはどのようなものを想定されていますか。奈良県放射線技師会の発行物に研究発表を掲載するものか、学術大会で発表するものなのですか。

秋山理事：鹿苑ニュースに掲載するものを想定しています。

野儀理事：そうなりますと、学術的なもの以外のものも含まれてきますので学術委員会だけで取り扱うものなのか疑問です。取り扱うもの内容によって秋山委員長が担当を割り振ってはどうか。

山田理事：査読の必要がそもそもあるのですか。理事会などで各病院の取り組みとして扱って、内容的におかしくなければよいではないのですか。今までないことですので学術的なもののみ扱いある病院だけ載せるといふはどうかと思います。

秋山理事：今回は学術的なものでしたので、学術委員会にお願いをしたのです。窓口がどこになるのか決めていただきたいです。

日浦理事：どこかの委員会で企画を立ち上げて募集するのがよいと思います。学会誌ではないので、間違っている、いないなどの責任の所在をどうするのですか。一コーナーとして取り扱ってはどうか。

山田理事：ニュースで取り扱うのであれば、広報が窓口になるのがよいと思います。

小林副会長：今回のことに関しては学術委員会でのよいのではないですか。今年度は学術大会を行っていないので委員会だよりとして扱っては

どうですか。

高谷会長 : 内容の審査は必要ですね。学術的なものだけでなく、施設の取り組みなどを扱ってはどうか。そうすれば深く内容に踏み込まなくてもよいのではないですか。

辻村理事 : 今回のことに関しては、学術的な要素が高く査読が必要かと思います。情報提供ではなく、実験を行ったので結果を評価してくださいといったことだと思います。誤字脱字をチェックするだけではないので責任の所在を奈良県放射線技師会で持たないといけないと思いますので鹿苑ニュースに向く題材なのか。今年度は学術的なものを出す機会がなかったのは確かで、そういうポジティブな取り組みをしていることは非常によいと思います。

秋山理事 : 他県の発刊物では、学術的なものを募集して掲載しているところもあります。

池口副会長 : 学術雑誌のように論文的に載せるのか、会員が行った実験を誌面発表会のような紹介として載せるのか2種類の考えがあると思います。今回のことに関しては学術大会の抄録を作ったりなどと変わらないと思いますので、学術委員会が長けていると思います。

高谷会長 : 窓口を決めて、内容に合わせて担当を振り分けてはどうか。会員に周知もしなければなりません。もう少し議論が必要になります。秋山理事から案を作成していただけますか。

秋山理事 : 分かりました。

【審議事項】

なし

4. 教育関連事項（日浦之和教育委員長）

(1) 日本診療放射線技師会関連

- ① 2020年度「診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー」を2021年2月20日～3月4日の期間でWeb開催した。トラブルにより視聴期間を3/4に延長した。参加者は13名。決算報告は3月7日時点で作成中。

② 近畿地域教育委員会

2021年2月13日第2回近畿地域教育委員会に出席。

(2) 奈良県放射線技師会

- ① 2020年度「診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー」については上記。

【質疑】

なし

【審議事項】

なし

5. 広報関連事項（秋山敬純広報委員長）

- (1) 1月28日奈良県放射線技師会封筒「角2型」の新規作成。イラストの購入。1000枚発注。封筒「長3型」近日中作成・発注予定。
- (2) 1月29日フレッシューズセミナー案内状を奈良県各施設へ郵送。72通。（日浦教育委員長より依頼）
- (3) 3月2日季刊誌「鹿苑」広告掲載依頼書 賛助会員宛に郵送25通。
- (4) 3月15日鹿苑ニュースNo.277発行
- (5) 鹿苑ニュース No.278発行（臨時発行）について（昨年7月号の未発行分。定款で年6回発行が定められている）
4月初旬発行予定 原稿締切：3月31日頃
内容：巻頭言：小林副会長に依頼
通常総会の案内
2020年度第6回定例理事会議事録
各委員会より掲載事項
・学術委員会 研究発表（後抄録）
・教育委員会 フレッシューズセミナー開催報告、参加記
・組織委員会 4地区合同懇話会開催報告、参加記
その他
- (6) 通常総会議案書及び季刊誌「鹿苑」の発行準備
5月上旬発行予定
議案書作成
はがき表の作成（2月）
各位委員会より開催報告など（3月）
今年度新入職に対して自己紹介文の依頼（3月）
賛助会員による公告依頼（3月）

【質疑】

日浦理事：フレッシューズセミナーについての参加記で

すが、Web開催ですので難しいです。

辻村理事：4地区合同懇話会については開催報告をアレンジしたものを考えています。

日浦理事：開催報告を拡大したものでよいですか。

秋山理事：今まで書いていただいていたので、なんとかお願いいたします。

高谷会長：総会議案書についてはどうなりますか。

山田理事：議案書については会長と財務でやります。会計監査が終われば監査報告書が出せますので、それ以降に締め切りをお願いします。

【審議事項】

なし

6. ホームページ関連事項（北村未央委員長）

(1) アップロード・修正・設定 等

(1月11日～3月3日時点)

1月13日 2020年度 組織委員会 「4地区合同懇話会」

1月28日 2020年度 フレッシュアップセミナー

2月 7日 鹿苑ニュースNo.276

原子力災害時の放射線被ばく防止に関する研修会案内

第46回奈良県RIミーティング 開催案内

2月12日 第1回医療事調査・支援センター主催研修会

日本放射線技師会より調査協力をお願い

2020年度 組織委員会 「4地区合同懇話会」

3月 1日 原子力災害時の放射線被ばく防止に関する研修会案内

【質疑】

なし

【審議事項】

なし

7. 福利厚生関連事項（玉井宏征福利厚生委員長）

(1) 2021年度厚生事業（案）

① 春の厚生事業：6月頃予定 ハイキング等の健康事業中止

② 秋の厚生事業：10月頃予定 ハイキング & BBQ

③ 第68回近畿地域診療放射線技師会野球大会（奈良県）
2021年11月3日（祝） 桜井芝運動公園にて

④ 新年情報交換会：2022年1月16日（日）

【質疑】

高谷会長：春の厚生事業については延期ではなく、中止ですか。

玉井理事：COVID-19のため中止としたいです。延期にしている、また中止になってはいけませんので。

高谷会長：事業計画に影響はないですか。

山田理事：次年度についてはまだ事業計画を出していません。他事業に当たりますので、中止になってもそれほど影響しないと思います。事業計画から省いておいたら問題ないと思います。

水野監事：公益事業から外れるので、できないものは省いておいたらよいです。

【審議事項】

春の厚生事業の開催中止について

保留【5】 反対【0】 賛成【9】

8. 安全管理関連事項（北村未央安全管理委員長）

(1) 第4回安全管理委員会 2月9日（火）（Web開催）

医療安全

① 奈良県医療安全推進センター関連

2/25（木）職能団体連携会議

《活動方針・行動計画》

(2) 原子力災害時対応

原子力災害時の放射線被ばくの防止に関する研修会関連

① 《研修会開催》

開催日時：2021年3月13日（土） 10:00～11:30

開催場所：ミグランス 橿原市役所分庁舎

4F コンベンションルーム

開催形態：対面

参加者：会員10名 非会員0名

内容：1. 「放射線測定器の取り扱い方法と特性」

株式会社日立製作所 宮川知之

2. 「原子力災害時の放射線被ばく」

田北病院 小林勝宏

3. 「避難退域時検査（サーベイ実習）」

決 算 :

	科目	本年度予算	本年度決算	備考
収入	事業対策費	¥55,000	¥34,840	
	参加費	¥10,000	¥0	
	計	¥65,000	¥34,840	
支出	会場費 会場使用料	¥0	¥6,720	
	旅費交通費(スタッフ)	¥5,000	¥520	
	通信運搬費	¥0	¥0	
	消耗品費(材料費)線源	¥10,000	¥0	
	タイバックスーツ	¥40,000	¥15,600	
	講師謝金(講師料)	¥10,000	¥12,000	宮川氏 お車代として2000円
計	¥65,000	¥34,840		

収支差額: ¥0

イベント開催報告書		公益社団法人奈良県放射線技師会	
委員会	安全管理	イベント名	原子力災害時の放射線被ばくの防止に関する研修会
報告者	小林勝宏	日時	2021年3月13日 10:00~11:30
		場所	ミタランス 4F コンベンションルーム
		参加費	会員 無料 一般 1000円
		人数	10名
<<プログラム>> 10:00【開会挨拶】 会長 高谷 英明 10:05【研修1】原子力災害時の放射線被ばくの防止に関する研修会 小林 勝宏 10:30【研修2】放射線測定器の取扱方法と特性 株式会社日立製作所 宮川 知之 11:00【研修3】避難地域時検査 11:30【閉会挨拶】 副会長 池口 俊孝			

(3) 災害対策・対応

① 災害時被災状況連絡体制関連

災害発生なし、実動なし

《活動方針・行動計画》

JART災害支援認定診療放射線技師分科会に詳細問い合わせ中

② 災害支援関連

ア 災害発生なし、実動なし

イ 広報活動

安全管理委員会だより ネットワーク会議参加記(高谷会長) 鹿苑ニュースNo.278掲載

【質疑】

秋山理事: 原子力災害時の放射線被ばくの防止に関する研修会の参加記は出ますでしょうか。

小林理事: 高井病院の新人の方をお願いしています。

【審議事項】

なし

9. 組織関連事項(辻村恭平組織委員長)

(1) ポスター作成更新について

予算書に関しては、前回理事会において承認していただいた。

更新した、ポスターについては、「タペストリー」として業者に依頼して作成していく。

ポスター作成委員で、誤字脱字を最終チェックして、完成させていく。

(2) 4地区合同Web懇話会について

(2021年2月26日(金) 19時~20時30分)

今回は、懇話会として初の「Web懇話会」として開催した。参加者は、総数33名(会員 31名 非会員 2名)。50名の事前参加枠を設定していましたので、定員に達しなかったことは、今後の広報の課題である。発表(動画)、討論とも活発にできたことは評価できる。今後のWeb懇話会の試金石となったことは大きな成果である。

組織委員会 2020年度4地区合同懇話会

《開催報告》

開催日時: 2021年2月26日(金) 19:00~20:30

開催場所: Web開催

開催内容: 医療被ばく・管理元年 宇陀市立病院

水晶体被ばく引き下げ 天理よろづ相談所病院

座長: 辻村(JCHO大和郡山病院)

講演内容: 1部 Web講演 2部 討論会

3部 Web講演 4部 討論会

事前登録制人数制限あり: 50回線(施設単位の参加OK →事前登録の際に入力の必要あり)

2020年度4地区合同懇話会決算

	科目	本年度 予算	本年度 決算
収入	参加費	0	0
	事業対策費	308,000	253,550
	計	308,000	253,550
支出	会場費 会場使用料	0	0
	特設ページ設定	110,000	110,000
	事前予約システム利用料	55,000	55,000
	配信機材(PC 1台)	33,000	33,000
	Zoom操作フォロー人件費	110,000	55,000
	支払手数料	0	550
	計	308,000	253,550

イベント開催報告書			公益社団法人奈良県放射線技師会		
委員会	組織	イベント名	2020年度4地区合同懇話会	会員(無料)	31名
報告者	辻村恭平	日時	2021/2/26	非会員(無料)	2名
		場所	Web開催	ポスター・チラシ・写真等掲載欄	
プログラム・内容: (プログラム) 19:00 (開催挨拶) 委員長 辻村 恭平 19:05 医療被ばく・管理元年 宇陀市立病院 小西隆雄 19:20 医療被ばく・管理元年 討論 19:40 水晶体被ばく引き下げ 天理よろづ相談所病院 小西高史 20:00 水晶体被ばく引き下げ 討論 20:20 閉会挨拶 高谷会長					
			コメント: 今年度は新型コロナウイルスの影響で4地区合同Web懇話会として行った。実績としては事前参加者登録50名限定に対して下回ってしまったが、活発な討論およびアンケート方式により議論を深めることができ		

ば13日に開催可能となる可能性があります。プログラムの見直しをすれば13日に開催可能です。

小林副会長：ある程度プログラムが決まっていますが、もう一度練り直します。

【審議事項】

なし

(3) 放射線フェスタについて 2021年8月22日(日)10時(予定)

2021年5月中旬に申請予定。近鉄百貨店からは「ガイドラインに則り、十分な感染対策を講じて欲しい」との要請あり。

【質疑】

なし

【審議事項】

なし

III 特別委員会

1. 創立70周年記念事業(池口俊孝委員長)

報告事項なし。

【質疑】

なし

【審議事項】

なし

2. 近畿地域診療放射線技師会学術大会in奈良

(北村未央委員長)

(1) 第5回プロジェクトミーティング 12月22日(火)

Web開催

1. プログラム考案(絞り込み・具体化)

2. 会場選定 → 検討中 ※第一候補であった奈良県産業会館の予約が出来なかった

現在、第二候補であった奈良県コンベンションセンターに打診中。

・今後の予定…会場決定、会場申し込み、予算案、大会ポスター、HP開設、Web開催準備

【質疑】

高谷会長：補足ですが、3月13日に先約があったため、3月19日、3月20日を仮予約としています。先約の方の予約が13日の18時からとなっているため、こちらの終了時間が16時くらいであれ

IV 常置委員会

1. 定款改正等委員会(水野吉将委員長)

諸規程については委員会内にて、メールで内容をチェックし、次年度理事会にて承認を受けようと考えています。定款部分の改正は次年度総会に向けて、可能であれば今回の議案書にパブリックコメントとして掲載してもよいかと考えています。

【質疑】

なし

【審議事項】

なし

2. 表彰委員会(小林勝宏委員長)

報告事項なし

【質疑】

なし

【審議事項】

なし

3. 海外交流委員会(池口俊孝委員長)

進捗なし

【質疑】

なし

【審議事項】

なし

4. その他

(1) 有休財産の使用に関する進捗報告

サーベイメータ及びポケット線量計購入

仕様書を作成し、各メーカーに見積もり依頼

千代田テクノ

機器名	台数	金額 (円)
電離箱式サーベイメータ	1	350,000
GM管式サーベイメータ	1	390,000
ポケット線量計	3	74,700
値引き		114,700
消費税10%		70,000
小計		770,000

富士電機

機器名	台数	金額 (円)
電離箱式サーベイメータ	1	380,000
GM管式サーベイメータ	1	410,000
値引き		118,500
消費税10%		67,150
小計		738,650

【質疑】

なし

【審議事項】

サーベイメータ等購入に関する予算執行について

保留【0】反対【0】賛成【14】

V 審議事項まとめ

- 事務所移転に関する委員会設置について
保留【0】反対【0】賛成【13】
- 事務所移転に関する退去期限を2年としたいことについて
保留【0】反対【0】賛成【14】
- 教育委員会と業務改善推進委員会との連携強化について
保留【0】反対【0】賛成【13】
- 会員2名の奈良県放射線技師会年会費免除申請について
保留【0】反対【0】賛成【14】
- 会員1名の終身会員の申請について
保留【0】反対【0】賛成【14】
- 春の厚生事業の開催中止について
保留【5】反対【0】賛成【9】
- サーベイメータ等購入に関する予算執行について

保留【0】反対【0】賛成【14】

8. 第6回定例理事会における報告および審議事項について

保留【0】反対【0】賛成【14】

VI 経過事項

関西☆collection令和2年度Webミーティング

1月25日(日)

2021年度近畿地域診療放射線技師会学術大会in奈良

第6回プロジェクトミーティング 1月25日(月)

奈良県福祉医療部医療政策局健康推進課との面談

1月28日(木)

令和2年度全国地域連絡協議会(全国会長会議)

1月30日(土)

第6回 学術委員会

2月2日(火)

第4回 安全管理委員会(Web開催) 2月9日(月)

2020年度第2回近畿地域診療放射線技師会

教育委員会/会長副会長会議 2月13日(月)

第6回 組織委員会 2月17日(水)

第31回日本医療マネジメント学会奈良支部

幹事会・運営委員会 2月17日(水)

JART/JSRT合同近畿地域意見交換会 2月23日(火)

第1回医療専門職団体連携会議 2月25日(木)

診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー

2月20日(土)～3月4日(木)

4地区合同懇話会

2月26日(金)

原子力災害時の放射線被ばく防止に関する研修会

3月13日(土)

第82回 公益社団法人日本診療放射線技師会臨時総会

3月14日(日)

VII 今後の予定

健康づくり財団 理事会

3月25日(木)

第7回 学術委員会

4月6日(火)

第7回 組織委員会

4月21日(水)

第8回(通期第68回)通常総会

5月29日(土)

VIII 次回理事会について (2021年度第1回定例理事会)

2021年4月30日(金) 19時00分～(要相談)

場所 奈良県立医科大学 厳櫃会館3階大ホール

※尚、COVID-19の影響によりWeb開催の可能性もある。

以上

この議事が正確であることを証するために議長及び議事録署名人は記名捺印する。

2021年3月16日(火)

議長	会長(代表理事)	高谷 英明	印
議事録署名人		高嶋 敏光	印
		水野 吉将	印

奈良県磯城郡田原本町宮古404-7 奈良県健康づくりセンター内

公益社団法人 奈良県放射線技師会

県民の皆様 放射線 Q & A です！

[QUESTION AND ANSWER ABOUT RADIATION]

Q. 放射線は有害と聞きました。毎年胸部集団検診を受けていますが大丈夫でしょうか？

A. 胸部の集団検診で毎年X線検査を受けても、身体にはほとんど影響がないと思われま

- ・医療で受ける被ばくには、病気を発見する可能性があるという「メリット」と、被ばくそのものの危険性「リスク」があります。胸部集団検診において、メリットは最近増えてきた肺結核や肺がんなどの発見です。そしてリスクは放射線被ばくによるがんの発生です。
- ・放射線による発がんのリスクを推定計算すると、「全身に」「1 mSv」の放射線被ばくをすると10万人に1人以下の確率で、致死性のがんが発生する可能性があるといわれています。
- ・では実際に胸部検診においてどれくらいの放射線を被ばくしているかというと、1枚につき0.07 mSv（大阪府成人病センター測定）程です。この値は1 mSvと比べてかなり低いことから、がんが発生する確率がいかに低いかわかります。さらに胸部X線検査では全身に照射することはなく胸部のみですから、その危険度はさらに低くなります。
- ・それでは毎年検査を受けた場合、身体に影響はないのでしょうか？
人は医療機関などで検査を受けなくても、自然（食物・大地・宇宙）から放射線を絶えず浴びています。
この値は地域によって異なり、東京都では年に0.91 mSv、岐阜県では年に1.19 mSvです。
ここで岐阜県では毎年、東京都より0.28 mSv（先ほどの胸部写真だと4枚分）、多く放射線を浴びていることにはなりますが、岐阜県のほうが特にがんの発生率が高いという報告はありません。
このことから、今後とも毎年胸部検診を受けて頂いても人体にほとんど影響がないと思われま
- ・最後に、新聞などで「胸部集団検診は検査の有効性を示す証拠がないため法的義務付けを廃止する」と取り上げられています。胸部集団検診では肺がんの発見率が低いというのが主な理由です。
しかし肺がん自体は年々増加する傾向にあります。
- ・最近、CTによる胸部検診が普及しつつあります。これは、CTによる胸部検診が胸部X線検診よりも肺がんの早期発見に威力を発揮することが明らかになったためです。
しかしX線よりもコストが高い、被ばくが多いなど問題があります。
- ・以上のような点を考えた上で、CT検査よりも手軽に受けることのできる胸部X線検査を継続して受けていただくことは、県民皆様の健康維持、促進にとって有効であると考えます。